

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

May / 12 / 2023 # 122

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

INDEX

- [1] 旬な話題、気になる話題
『久しぶりのソロのコンサート』
 - [2] Pepeのひとりごと
『YouTube動画、新シリーズ』
 - [3] 演奏のヒント！
『レガート（スラー）の吹き方』
 - [4] 編集後記
-

[1] 旬な話題、気になる話題

『久しぶりのソロのコンサート』

先月号の最後の「編集後記」にも書きましたが、来月、6月28日（水）の19時から、尼崎市のピッコロシアター、小ホールにて、Euphoniumでのソロのコンサートをやります！

ユーフォニアム・デュオ「えばたんち」さんに企画をしてもらったコンサートで、えばたんちのお2人との共演もありますよ！
時間の都合で選曲についてはすごく悩みましたが、いい感じになったのではないかとと思っています。

僕は、

- ・ Fantasia di Concerto (E.Boccalari)
- ・ Concert Etude (A.Goedicke)
- ・ Concertion (R.Wilhelm)
- ・ Two-Part Invention (P.Sparke)

以上の曲を演奏します。

ぜひ、聴きにきてください！

*詳細やチケットのお問い合わせは、こちらの下部にあるメールアドレスでも承ります。

[2] Pepeのひとりごと

『YouTube動画、新シリーズ』

今月から、YouTubeに上げる動画の新しいシリーズをはじめました。

あの有名なエチュード、J.Rochutの「Melodious Etudes」は、知っている人も多いと思います。

あの最初の20曲に、カウンターパートが出ているのは知っていますか？

それを使って、1人でデュオをやっていこうと思い、撮り始めてみました。やってみると、まあこれが大変・・・（汗）。

多重録音は、よくメトロノームを使ってやるのですが（それでも多少のズレが生じるため、編集する必要が出てきます）、今回はフレーズの自由度を活かしたかったので、あえてメトロノームは使わないでやっています。

あと、動画なので、ズレの修正（編集）ができない・・・（相変わらず、編集なしでやってます）。

ととと1つのパートを撮って、残りのパートを最初に撮ったパートに合わせて撮ることに集中する感じになっています。

せっかくだから、と思い、1人でデュオをやった動画のあと、

「Let's play together!」ということで、みなさんと一緒に吹けるように1パートずつの動画も出しました。

（今朝気づいたのですが、動画内のtogetherのスペルが間違っていました・・・。
ああ、やっちまった・・・涙）

どちらのパートでもできますので、ぜひ活用してみてくださいね！

月に2つくらいずつアップしていければいいなあ、と考えています。
よろしくお願いします。

[3] 演奏のヒント！

『レガート（スラー）の吹き方』

今回は、レガート（スラー）について。

管楽器奏者の多くの方が、きっとスラーとは「タンギングをしないで吹く」という認識を持っていると思います。

結果としてはそうですし、タンギングをするよりもしないで吹くほうがなめらかに演奏できるとは思いますが、果たしてそれだけで十分なのでしょうか。

EuphoniumとTromboneの両方を吹いているからこそ気づいたことなのかもしれないのですが、僕は、タンギングをしないことが、必ずしも最もなめらかに吹く方法ではないのだと考えています。

実際、跳躍（高低の差が大きい音の移動）などのときは、タンギングをしないときよりレガートタンギングをしたほうがなめらかに演奏できる 때가けっこうあります。

しかし、スラーを「なめらかに演奏する」という認識がない場合、そのことにすら気づかなくて、タンギングをしないで演奏して、そのフレーズが十分になめらかなのか、もっとなめらかならならないのか、と考えないまま演奏してしまうことが多いのではないかと思います。

もちろん、スラーのなめらかさも正解は一つではなく、曲の雰囲気などによって様々ではありますが、自分のスラーのなめらかさにもいくつかの種類を持っておくのは、とてもいいことだと僕は考えています。

一つ、コツとして僕がスラー（レガート）で演奏するときに意識していることは、「音と音の間に息を入れる感じ」ということです。音に息を入れるイメージでやるのと、音だけでなく、音と音の間にも息を入れるように演奏するのとでは、演奏のなめらかさにかなりの違いが出てくると思います。ぜひ、やってみてくださいね。

編集後記

みなさん、GWは楽しく過ごせられましたか？

僕は、人混みが最大の苦手なので、なるべく人混みに関わることなく、平和に過ごしました。 ;)

5月8日からはいろいろな制限がなくなり、コンサート等のイベントもかなり盛んになってきましたね！

僕も、最近はいくつか素敵なコンサートを聴いて、とても刺激をもらったし、勉強をしました。 ;)

3年越しのこの感覚。

元気に活動できることに感謝をしながら、これからもどんどんとがんばっていきます！

先月号でも書きましたが、7月末に「Italian Brass Week」という、レッスンやコンサートなどがたくさんあるイベントがイタリアのフィレンツェなどであって、Euphoniumの講師の一人として僕も参加します。

まだまだ参加者を募集していますので、ぜひ少しでも興味のある人は見てみてください！

<https://www.italianbrass.com/en/>

一緒にイタリアの空の下で、楽しく、がんばって勉強しましょう！

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

info@pepeabe.com

©阿部竜之介 『Pepeの視点』

のバックナンバー、配信停止はこちら

<http://www.mag2.com/m/0001601194.html>